

～令和4年2月 データから見た業界の動き～

2月報告のポイント

さらに長期化が予測される原材料不足と高騰、 収益状況は全業種で悪化 課題は山積み

■ 概 況

2月の県内景況のD.I値は、製造業・非製造業をあわせた全体で売上高2ポイント（前年同月比+50）、収益状況▲30ポイント（前年同月比+24）、景況感▲22ポイント（前年同月比+32）と全項目で回復傾向を示した。売上高はマイナスを脱出するも、収益・景況感は悪化傾向にあり、先行きを懸念する声が多い。

業種別で製造業は売上高+15（前年同月比+75）、収益状況▲35（前年同月比+25）、景況感▲15（前年同月比+45）となった。

生産用機械器具製造業や金属製品製造では半導体製造装置関連からの需要が高いことから売上げ、収益ともに前年対比約20%の増加、経営状況が改善したとの声があった。

一方、パン・菓子製造業ではボイラーの燃料費が収益を圧迫、繊維製品製造業からは糸の価格が上昇し今後の動向を注視、木材・木製品製造業からは国産・輸入材ともに高値継続、ロシア産木材の流通が減少し今後価格はさらに上昇するとの報告がされた。

コロナウイルス感染症を理由とした長引く原材料等の調達難に加え、ロシアのウクライナ侵攻の影響により一層諸資材の価格が高騰しており、収益を圧迫しているとの声が多い。

非製造業では、売上高▲7（前年同月比+33）、収益状況▲27（前年同月比+23）、景況感▲27（前年同月比+23）となった。

1月中旬頃から新型コロナウイルス感染症の新規感染者数が拡大したことから、美容業からは予約が入らないとの声や、宿泊業からも観光・ビジネス共に動きが抑制され宿泊者数は増加しないとの声があった。

商店街では、コロナ禍で変化した消費のスタイルは、今後も従前どおりには戻らないと感じており、組合員の廃業から商店街の存続すら危ぶまれている状況との報告があった。

原油価格高騰の影響は運輸業においては特に大きく、売上回復の糸口が見えない中での燃料価格上昇は人材確保難も合わせて事業継続における大きな問題、厳しい判断をする事業者が増えることが懸念される。

今回中央会では、2021年の県内有効求人倍率の年平均が1.19倍とアルバイトに加え、正社員を求める声が高まっていることから、月次景況調査対象企業50社における人材採用について調査した。有効回答46社中36%が「正規社員が不足している」と回答、また26%は「パート・アルバイトについても不十分」と回答した。2023年度の人材採用予定については42%が「採用の予定がある」と回答し、多くの事業者が人材不足を感じていることが伺えた。

令和4年4月には個人情報保護法やパワハラ防止法などの法改正、また今後導入されるインボイス制度などへの対応も求められ、中小企業者の課題は山積みである。

中央会では中小企業者の円滑な事業運営を支援するため、新年度に向けて専門家派遣事業などを強化、実施していく予定である。

■ 業界からのコメント (業界ごとの詳細は、以下のコメントを参照)

● 製造業

<p>食料品 (水産物加工業)</p>	<p>業務用及びギフト関連商品が好調で、売上げが前年同月比127%となったが、コロナ前に比べると45%程度となっている。石油関連資材等の値上げが激しく、収益に悪い影響を及ぼしている。組合員の取り扱っている商品が高額なもののため、値上げは難しい。</p>
<p>食料品 (洋菓子製造業)</p>	<p>売上げは前年同月と比べ119%と堅調に推移している。原材料価格が上昇しているが、当面値上げは考えていない。</p>
<p>食料品 (パン・菓子製造業)</p>	<p>前年同月と比べ売上げは増加しているが、原油価格の高騰によりボイラーで使用する燃料費が収益を圧迫している。</p>
<p>食料品 (酒類製造業)</p>	<p>売上げ、収益ともに減少し、厳しい経営状況が続いている。 この逆境下でどのように販促活動を展開していくか、その方法を構築する必要があると考えている。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>胴裏地・袖裏地は現時点では順調に推移している。ネクタイ部門でも春物の注文が少し入っているが、原材料の糸の価格が高騰しているため今後の動向を注視している。傘地は前月からの発注生産を継続しているが追加の注文がないため、今後の見通しが立たず不安を抱えている。</p>
<p>繊維・同製品 (織物)</p>	<p>2月17日(木)、18日(金)に愛知県一宮市で開催された糸の展示商談会「第19回日本ヤーンフェア(糸及び染色整理加工繊維関連機器展示会)」の視察研修を実施した。感染症対策として少数の組合員のみでの参加となったが、今後、技術の向上などに良い影響をもたらすことを期待している。</p>
<p>木材・木製品製造</p>	<p>ウッドショックの影響が未だ継続し、輸入材、内地材ともに高値が続いている。また、今後はロシア産木材の流通が減少する恐れがあるため、木材価格はさらに上昇すると予測している。</p>
<p>家具製造</p>	<p>木材生産国のコロナの影響による生産量低下やコンテナ不足などの理由により海外生産品が遅延・不足していることから、国内工場代替生産を行っているが、従業員の残業が増え続けている。また、県内の半導体関連企業が好調なためアルバイトや派遣社員を募集しても応募がなく、時給が従来の2倍以上にまで上昇しているが、製品価格へ転嫁できないため、原価割れが起きている。あわせて内地材の高騰も継続していることから、収益が圧迫され厳しい経営状況が続いている。</p>

<p>紙製造業</p>	<p>前年同月も感染症の影響を受け売上げが減少していたが、それを上回る売上不振に加え原材料価格の高騰により業績は最悪とも言える状況となった。</p>
<p>印刷・同関連業</p>	<p>インキ、刷版、用紙等が大幅に値上がりし、収益を圧迫している。</p>
<p>窯業・土石 (砂 利)</p>	<p>前年同月と比べ、売上げ、収益ともに▲20%程となった。感染症の影響により全体の工事量が減少していることが要因だと考えている。</p>
<p>窯業・土石 (山碎石)</p>	<p>石油製品等の高騰から組合でも販売価格の小規模な値上げをしたが、他企業の製品の値上げが激しいため小規模な値上げで収益への効果が低い。燃料の高騰により製造費や運搬費などのコストが増大し今までにない程の負担となっていることから、収益は前年同月比▲15%となった。</p>
<p>鉄鋼・金属 (金属製品製造業)</p>	<p>半導体製造装置関連などの高需要から、前年同月と比べ売上げ、収益ともに20%程増加した。</p>
<p>一般機器 (業務用機械器具製造業)</p>	<p>受注量は横ばいで変化はないが、原材料の高騰が収益を圧迫している。今後は厳しい経営状況になると考えている。</p>
<p>一般機器 (生産用機械器具製造業)</p>	<p>前年同月と比べ売上げが約30%増加し、収益状況、資金繰りともに好転した。半導体をはじめ電子部品の入手が困難となりつつある状況から、一部の取引先は先行発注を行っている。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>半導体製品の入荷が遅延し、半完成品が在庫として増加している。半導体製品の納期が明確でないため正確な見積もりができず、結果的に赤字になる受注もあり、経営状況は悪化している。</p>
<p>電気機器 (電気機械部品加工業)</p>	<p>半導体製造装置関連や医療機器の受注が増え、売上げは前年同月比で10%程の増加となったが、原材料の不足・高騰により増収減益の状況。また、ロシアのウクライナ侵攻が今後の経済に影響を与えることは間違いないため、動向を注視している。</p>

● 非製造業

<p>卸 売 (自動車中古部品)</p>	<p>世界情勢が不安定なことから、販売する部品等の価格は上昇傾向にあるが、車の生産台数が前年同月比▲20%となったことに伴い、廃車台数も30~40%程減少している。部品の販売量は少ないが、上昇している部品販売価格に支えられ持ちこたえている状況。</p>
<p>小 売 (青 果)</p>	<p>白菜、大根、長ネギなどの野菜に加え、果物も流通量の減少から高値となり売上げが減少した。また、輸入果物も原油高騰による輸送コストの増加から全体的に値上がりし、収益を圧迫している。</p>
<p>小 売 (食 肉)</p>	<p>感染症の影響によるホテル・旅館での宿泊客の伸び悩みや各種会合の延期・キャンセル、飲食店での来店数の減少などから売上げが伸び悩んでいる。また、輸入肉が値上がり傾向にあることや入船遅れにより輸入食肉の流通量が減少している。</p>
<p>小 売 (電気機械器具小売業)</p>	<p>前年同月と比べ売上げは30%程減少したが、コロナ前の水準に戻ったといえる。令和4年3月までは前年の反動により前年同月比で減少があると予測している。</p>
<p>小 売 (ガソリン)</p>	<p>原油価格の高騰から燃料油価格激変緩和対策事業による燃料油価格抑制制度が1月後半に発動された。仕組みが複雑であることから、消費者への説明対応に苦慮している。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>1月は県内の新規感染者の急増により来客数が減少していたが、2月は若干の人出があり売上げが回復。前年同月と比べても30%程売上げが増加した。</p>
<p>商 店 街</p>	<p>感染症の影響がこれほど長引くと、変化した消費行動は元には戻らないと感じている。閉店により組合を脱退する組合員もあり、商店街としての存続が危ぶまれる。セールなどで盛り上げたいが、組合の収入が減少しており、実施が厳しい現状がある。</p>
<p>宿 泊 業</p>	<p>感染症の影響により人の流れが悪く、宿泊者数は増加しない。平日はビジネス客の利用が見込めるが、週末の宿泊者数は減少が続いている。先の見えない状況に苦慮している。</p>

美 容 業	1月後半から来店予約が激減し、2月に入ってから予約がまったくないという組合員もいる。予約時間の調整や人数制限を行い営業を続けるなど各組合員が営業努力により店舗を維持しているが、売上げは減少している。
一般廃棄物処理	人手不足が解消されない。人材確保がままならないことから、ごみ収集車の積載重量を増やすために大型車両を購入し業務効率を向上させることで労働力を補いたい、納車の目処が立たない。
警 備 業	土木建築工事は天候に恵まれ全体的には順調であったが、一部積雪や工事関係者の感染により休工になったほか、小規模工事の増加や県外工事業者が警備員付きで進出してきたことにより、売上げが伸び悩んだ。また、感染症の影響からイベント等が中止になり、全体の売上げは前年同月とほぼ変わらない結果となった。
建 設 業 (総 合)	公共工事では前年同月と比べ▲4%、請負金額も▲35%となった。2月末累計では、件数は▲2.7%となったものの請負金額では6%の増加となっている。
建 設 業 (型 枠)	建材価格の高騰に加え職人不足及び高齢化が進んでいる。前年同月と比べて仕事量は多いが請負金額は上がらず、厳しい経営状況が続いている。
建 設 業 (鉄 構)	前年程の鋼材価格の上昇幅ではなくなったものの、価格の上昇は続いている。今後は海外情勢が不安定なことが影響し、鋼材の値上がりはまだまだ続くと考えている。
設備工事 (管設備)	感染症が及ぼす先行きの不透明感が依然続いている。また、資材の不足が顕著になってきている。
運 輸 (タクシー)	新規感染者数の高止まりや原油価格高騰による燃料費の収益圧迫、ロシアのウクライナ侵攻など、経営に悪影響を及ぼす要因が多く、非常に厳しい状況。
運 輸 (バ ス)	変異株の感染拡大によりすべての受注がキャンセルとなった。前年同月と比べ収益は▲80%となっている。

運 輸
(トラック)

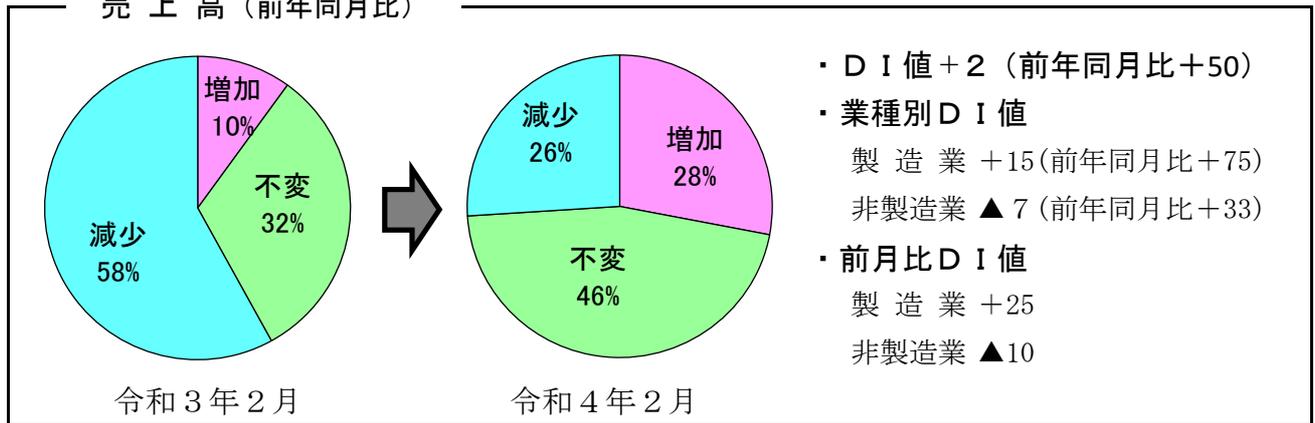
燃料の高騰が続いており、今後も収益状況が悪化していくと考えている。
新型コロナウイルス感染症、燃料価格高騰、人手不足など業界を取り巻く課題・問題はととても深刻で、今後は事業を継続できなくなる組合員が出てくる可能性がある。

■ 対前年同月比及び前月比景気動向D I 値（好転又は増加の割合から、悪化又は減少の割合を引いた値）

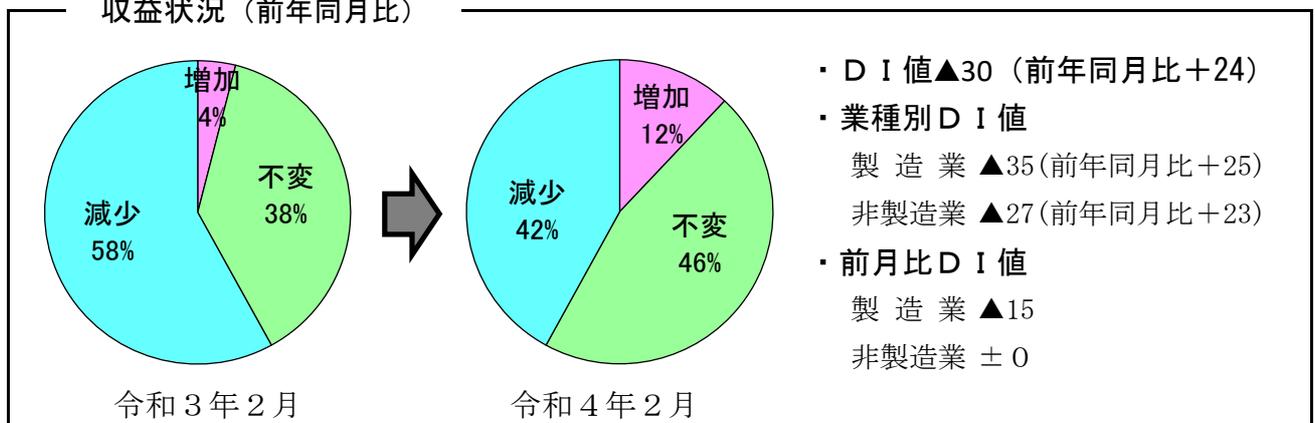
対前年・前月・当月	製造業			非製造業			合計		
	2021/2	2022/1	2022/2	2021/2	2022/1	2022/2	2021/2	2022/1	2022/2
売上高	-60	-10	15	-40	3	-7	-48	-2	2
収益状況	-60	-20	-35	-50	-27	-27	-54	-24	-30
景況感	-60	-10	-15	-50	-17	-27	-54	-14	-22

※（（良数値÷対象数）×100）－（（悪数値÷対象数）×100）＝D.I値

売上高（前年同月比）



収益状況（前年同月比）



景況感（前年同月比）

